

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公開番号】特開 2002-877 (P2002-877A)
 【公開日】平成 14 年 1 月 8 日 (2002.1.8)
 【出願番号】特願 2000-183919 (P2000-183919)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の制御を司る制御手段と、前記制御手段を被包する被包部材とを備えるとともに、前記被包部材を略閉鎖状態にて維持するための閉鎖維持手段を備えた遊技機において、前記略閉鎖状態を維持したまま前記制御手段に予め記憶された事項の確認を行うことができるよう構成するとともに、前記閉鎖維持手段の維持機能を損なわせることで前記略閉鎖状態を解除可能とし、該閉鎖維持手段の維持機能が損なわれた場合には自身の再度の使用が不能となるよう構成したことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記被包部材は第 1 の被包部材及び第 2 の被包部材が互いに接合されることによって構成され、前記閉鎖状態維持手段は、前記接合状態で前記第 1 の被包部材及び第 2 の被包部材を封印状態に維持するとともに、封印解除に伴いそのことが痕跡となって残存しうるものであることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記制御手段は、少なくとも遊技にかかわる制御とは切り離された事項を予め記憶してなる独立記憶部を有しており、前記略閉鎖状態を維持したまま前記独立記憶部と外部確認装置との間で前記確認のための通信を行うことができるよう通信端子を前記被包部材の所定部位に対応して設けたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。